

環境マネジメント活動

環境目標と実績

DNPは、以下の項目を重点課題として目標を定め、活動を進めています。

評価基準 ◎：目標を大幅に上回る成果があった ○：目標を達成した、または順調に推移
△：積極的に取り組んでいるが、目標達成に至らなかった ×：取り組みが不十分

テーマ	参照ページ	中長期目標	2024年度実績		評価
GHG 排出量削減	P 20-23	GHG排出量削減は2030年度および2050年まで それ以外は2030年度までの目標			
		Scope 1+2 排出量を 2030 年度までに 2019 年度比 46.2% 削減 (SBT)	2019 年度排出量 1,062 千トン-CO ₂ e	2019 年度比	△
		Scope 1+2 排出量を 2050 年までに GHG 排出量実質ゼロをめざす	2024 年度排出量 866 千トン-CO ₂ e ☒	18.4% 減	
輸送環境負荷削減	P 23	Scope 3 排出量 (カテゴリ 1, 3, 4, 5) を 2019 年度比 27.5% 削減 (SBT)	2019 年度排出量 3,556 千トン-CO ₂ e	2019 年度比	◎
			2024 年度排出量 2,990 千トン-CO ₂ e ☒	15.9% 減	
輸送環境負荷削減	P 23	輸送用燃料使用量売上高原単位を毎年 1% 削減し、2019 年度比 11% 削減	2019 年度原単位 1.28 キロリットル/億円	2019 年度比	◎
			2024 年度原単位 1.02 キロリットル/億円 ☒	20.3% 減	
資源循環率向上	P 24-25	不要物全体で資源循環率※ 70% を達成 ※紙有価物量等を除外した不要物のうち、 マテリアルリサイクルまたはケミカルリサイクルされた割合	2024 年度資源循環率 63.5%		○
水使用量削減	P 26	水使用量売上高原単位を 2019 年度比 30% 削減	2019 年度原単位 6.73m ³ /百万円	2019 年度比	△
			2024 年度原単位 6.21m ³ /百万円 ☒	7.7% 減	
環境配慮製品・サービスの売上高拡大	P 30	スーパーエコプロダクツの総売上高比率を 30% に拡大	2024 年度総売上高比率 15.0% ☒		○
印刷・加工用紙調達ガイドライン適合証明書取得率	P 32	適合証明書取得率 100% を達成	2024 年度取得率 99.5%		○
環境保全	P 14	大気排出規制項目の最大濃度を規制基準の 70% 以下に維持	2024 年度目標（自主基準）達成率 100%		○
		排水規制項目の最大濃度を規制基準の 70% 以下に維持	2024 年度目標（自主基準）達成率 99.7%		○
		敷地境界における最大臭気を規制基準の 70% 以下に維持	2024 年度目標（自主基準）達成率 98.5%		○
		敷地境界における最大騒音レベルを規制基準の 70% 以下に維持	2024 年度目標（自主基準）達成率 99.4%		○
		敷地境界における最大振動レベルを規制基準の 70% 以下に維持	2024 年度目標（自主基準）達成率 100%		○

温室効果ガス (GHG) 排出量削減目標が「Science Based Targets (SBT) イニシアチブ」の認定を取得

DNPは2018年7月、国際的な環境団体「Science Based Targets (SBT) イニシアチブ」の認定を取得し、2021年4月には、「Well below 2℃目標」として更新認定を取得しました。さらに2024年に更新したScope 1+2排出量目標と2025年に更新したScope 3排出量目標が、2025年4月に「1.5℃目標」として認定されました。今後もDNPは、省エネ活動や省エネ設備の導入など、GHG排出量の削減活動を一層強化します。また、サプライヤー各社との関係を強化し、GHG排出量の把握や低排出材料への移行を進めることで、サプライチェーン全体の排出量削減を加速させていきます。



» 環境目標と実績、環境負荷実態 » 脱炭素社会の実現に向けて » 循環型社会の実現に向けて » 環境汚染物質の削減に向けて » SDGsの達成に貢献するビジネス » 自然共生社会の実現に向けて

環境マネジメント活動

環境負荷実態

主要原材料投入量 (単位:千トン)

	2023	2024	
紙	505.0	485.8	(3.8%減)
フィルム	146.5	137.9	(5.9%減)
樹脂	159.7	153.8	(3.7%減)
金属	56.5	51.7	(8.5%減)
インキ	52.6	50.1	(4.8%減)
その他	68.9	75.8	(10.0%増)

主要副資材投入量 (単位:千トン)★

	2023	2024	
溶剤	25.1	23.3	(7.2%減)
酸・アルカリ	8.3	10.3	(24.1%増)

★ 対象は国内のみ

ユーティリティ ※1

	2023	2024	
電気(千MWh)	1,140	1,210	(6.1%増)
都市ガス(千Nm ³)	54,210	54,240	(0.1%増)
LNG(千kg)	17,060	21,220	(24.4%増)
LPG(千kg)	4,350	4,060	(6.7%減)
重油(キロリットル)	572	780	(36.4%増)
蒸気(TJ)	36	65	(80.6%増)
灯油(キロリットル)	980	530	(45.9%減)
水(千m ³)	7,300	9,060	(24.1%増)

※1 エネルギー総消費量 2024年度: 14,370TJ

製品製造プロセス

スマートコミュニケーション部門

イメージングコミュニケーション関連、情報セキュア関連、コンテンツ・XRコミュニケーション関連、マーケティング関連、出版関連、教育関連

ライフ＆ヘルスケア部門

モビリティ・産業用高機能材関連、メディカル・ヘルスケア関連、包装関連、生活空間関連、飲料事業

エレクトロニクス部門

デジタルインターフェース関連、半導体関連

その他部門

インキなど

サイト内での再利用実態★

	2023	2024
溶剤回収利用量(千トン)	3.4	4.1
利用率 ※2	1.1	1.2
水循環利用量(千m ³)	268,290	303,630
利用率	39.6	36.0
廃熱利用による蒸気発生量(トン)	140,000	131,000

※2 利用率: [(投入量 + 再利用量) ÷ 投入量] で算出し、インキ中の溶剤分は含めていません。

★ 対象は国内のみ

2023年度のデータについて一部見直しを行いました。修正箇所は斜体で表記しています。

大気への排出量

	2023	2024	
GHG ※3排出量(千トン- CO ₂ e)	846	866	(2.4%増)
NOx 排出量(トン)★	440	464	(5.5%増)
SOx 排出量(トン)★	5.5	9.0	(63.6%増)
VOC大気排出量(トン)	13,351	12,878	(3.5%減)

※3 GHG: 温室効果ガス(Greenhouse Gas)。電気の使用にともなう排出量は、集計年度の前年度の係数等を用いて過去年度分を含め再計算しました。(詳細はP22に記載)

★ 対象は国内のみ

水域への排出量

	2023	2024	
排水量(千m ³)	5,550	7,140	(28.6%増)
COD 排出量(トン)★	19.3	16.0	(17.1%減)
窒素排出量(トン)★ ※4	4.8	4.4	(8.3%減)
リン排出量(トン)★	0.2	0.2	(-)

※4 対象は水質汚濁防止法の適用を受ける排水経路。

★ 対象は国内のみ

不要物の排出量 (単位:千トン)

	2023	2024	
不要物総排出量	247	219	(11.3%減)
不要物総排出量(資源を除く量) ※5	60.9	59.9	(1.6%減)
廃棄物排出量	46.6	47.0	(0.9%増)
最終処分場利用量	4.9	4.5	(8.2%減)

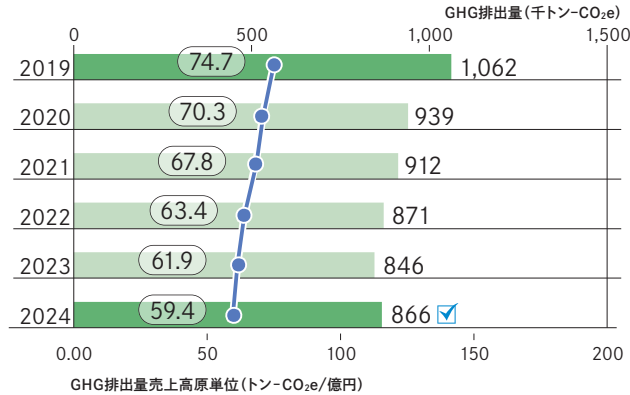
※5 紙くずを含め資源としてリサイクルされた量を除く不要物総排出量。

» 環境目標と実績、環境負荷実態 » 脱炭素社会の実現に向けて » 循環型社会の実現に向けて » 環境汚染物質の削減に向けて » SDGsの達成に貢献するビジネス » 自然共生社会の実現に向けて

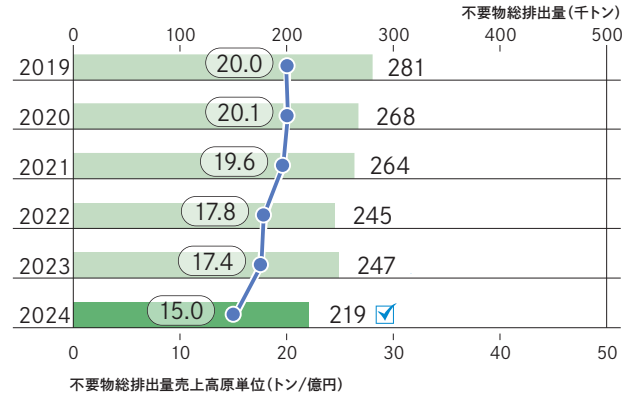
環境マネジメント活動

環境負荷の推移と環境効率

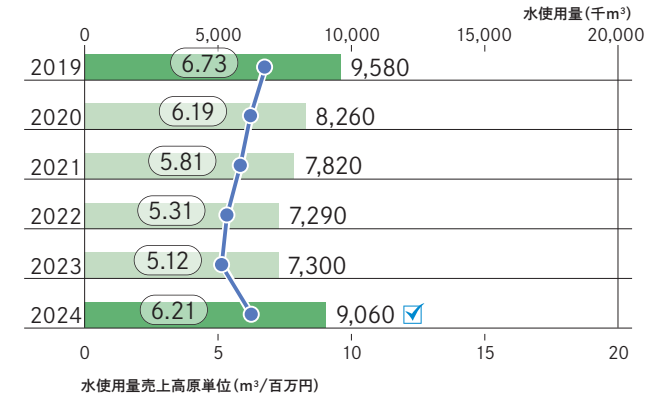
GHG排出量(海外を含む) ※1、※2



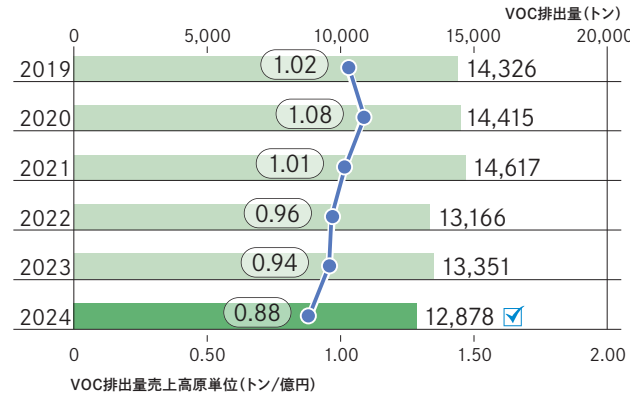
不要物総排出量(海外を含む) ※2



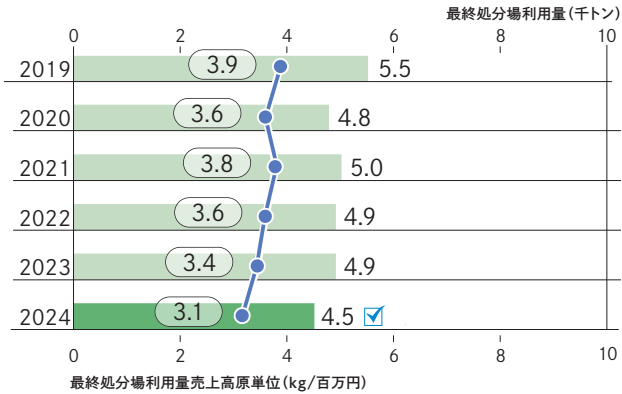
水使用量(海外を含む) ※1、※2



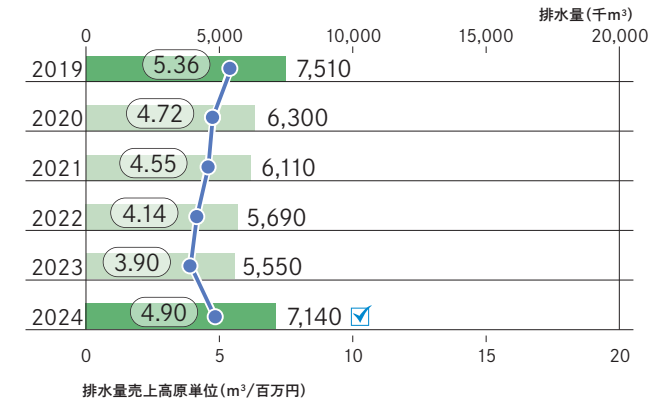
VOC排出量(海外を含む) ※2



最終処分場利用量(海外を含む) ※2



排水量(海外を含む) ※1、※2



※1：2019年度実績にシミックCMO(株)の実績を含みます。

※2：2024年度実績にシミックCMO(株)、(株)巴樹脂、(株)DNP科学分析センターの実績を含みます。